

# 14 Community

視聴者コミュニティ

1,2頁 : ETV2001 語る会シンポジウム  
 3頁 : 長井さん神戸講演「NHKと政治」  
 4,5頁 : BPOブックレット「ETV2001」  
 6頁 : WILL 記事に抗議  
 7頁 : コラム 海軍 400 時間証言  
 8頁 : コラム馬場氏  
 「坂の上の雲」NHK☆監激コム

NHKを監視・激励する視聴者コミュニティ

メール: [shichoshacomunity@yahoo.co.jp](mailto:shichoshacomunity@yahoo.co.jp)

HP ブログ: <http://kgcomshky.cocolog-nifty.com/blog/> (入会申込みフォーマットは↓↓年会費 1000 円です。)  
<http://space.geocities.jp/shichoshacomunity/HPshichoshacomunity/nyukai.html> 専用 FAX 059-222-3165

## NHK 番組改変事件 ~何が残された問題か~ 語る会シンポジウムレポート 「ETV2001 は終わらない」 新たな連帯の出発点

●9/26 石神井公園区民交流センターは当事者、関係者オールスター総出演、満員御礼、立ち見続出 "NHKも Change!"の熱気につつまれ盛会となりました。「視聴者コミュニティ」からも多数の参加があり、「NHKを政治家と官僚から市民の手にとりもどすこと」を確認しあいました。



番組改変問題に関わった重要人物がパネリストとして勢揃いした画期的つどいとなりました。NHK 裁判の原告側の当事者とNHK側の当事者とが同席して「真相解明」を行うなどかつては想像もつかない光景でした。壇上には、バウネット・ジャパン共同代表の西野留美子さんと永田浩三ディレクター、長井暁デスク、そしてジャーナリズムの現状に警鐘をならし、その再生をリードする重鎮、原寿雄さんが並んだのです。戸崎賢二さん(第2部は野中章弘さん)の名司会で「2001年の番組改変時」の重要な局面について一つひとつお二人がとった行動、そのときの心が吐露されました。長井さんが東京高裁で、「・・・もしここで本当のことを言わなかったら、一生私は後悔して生きることになるなというふうに思いました・・・」と述べられ、永田さんも「1月29日改ざんをやった後タクシーの中で泣きながら家路についた」と証言されましたが、今回あらためてそれを吐露されました。参加者は水を打ったようにそれに聞き入りました。

湯山哲守 (共同代表)

レポート詳細はこちらから  
<http://kgcomshky.cocolog-nifty.com/kaimemo.pdf>

いくつかの発言を紹介します。

\*\*\*\*\*

NHK は「政治的配慮で番組改変を行った事実はない」という公式見解に固執しています。これに対し

**永田氏**：総局長から「調べれば政治家の介入があったという結論しかないじゃないか」といわれた。だれもそう思っているが一度きめた「そんな事実はない」という見解を変えられない官僚体質。

**長井氏**：「外務省密約」とおなじ。「そんな事してどうやって予算とるの」といわれた。先日総局長の会見後、横にいた名乗らない人が「今

の総局長の見解はNHKの公式見解ではない。」と発言した。(こういう官僚群が変えさせない)

新聞記者もダンマリだ。

**戸崎氏**：当時彼らは孤立していた。局内でもディレクターの横のつながりもなかった。市民運動も弱く連帯がなかった。

**西野留美子氏** (VAWW-NET ジャパン共同代表)

●国際法廷をゆがめて報道し証言者への人権侵害。重大な民主主義の侵害。

●報道機関の自由と責任放棄。

●この番組のテーマは「和解はいかにしておこなわれるか。」女性国際戦犯法廷は「処罰なくして和解なし」

●1997年 すべての歴史教科書に慰安婦問題記述あり

(村山談話、官房長官談話) 自民議連、地方議会決議、政官民一体の政治家主導の「慰安婦攻撃」開始

2000年新しい歴史教科書初採択4社の教科書から慰安婦が消えた。

**原寿雄氏** (ジャーナリスト)

●外国の報道に比し日本の報道陣は「女性法廷」取材をほとんどしなかった。日本の報道陣は「女性法廷」を忌み嫌っている。

●放送法で保証された自由を放棄。  
 ●本田雅和氏が夕張に左遷されたことを知ってる人はすくない。

●公平中立にと穏便に5分だけ言われたのか。本当のことはわからない。

●権力に弱いのはNHKだけでない。みんな自分の企業利益に弱い。

●日本のジャーナリズム全体が弱い。朝日の揚げ足取りに徹した野次馬ジャーナリズム。

●「朝日の虚偽報道」と公共放送を私したNHKに対する批判が少ない。

●「期待権」という新しい権利を発展させるべき。

**永田浩三氏**  
 天皇タブーについて

●「食料メーデー」などを見ると天皇タブーがなかった時もあった。

●「ETV2000」ではノーマ・フィールドさんの「天皇責任の研究」は

そのまま放送された。批判もなかった。

●「東条内閣の秘密記録」をやったとき“天皇は参謀本部と一体になって戦争指導をしていた数日間”があり戦争責任はないという議論は無理があると思っていた。

●「期待権」が編集の自由を侵すのではなく NHK の編集権の放棄、編集権の濫用によりこの問題がおきた。

**西野瑠美子 氏**

●VAWW-NETが取材協力を依頼されたときの「放送のコンセプト」が守られなければ協力を断った。

●「期待権」はマスコミに矮小化されてしまった。VAWW-NET はバッシングされ取り返しのつかない状態になった。

**長井 暁 氏**

●「731 細菌部隊」を作ったときは、局内に公表したのは直前。

(早く知らせると政治部記者にご注進されつづされる。)

●企画が正式承認されたものは上層部が守ってくれると信頼してい

た。

●報道局は政治に過敏、番制(番組制作)局は局長まかせ。今回事件は国会担当が直接総局長を動かせるという悪例をつくった。

**野中章弘 氏(司会)(アジアプレス・インターナショナル代表)**

NHK とは何回も一緒に仕事をしてきたが NHK 番制局ディレクタ、プロデューサの誠実さ、能力、緻密さ、これはもう大変なものだ。

そういう人たちの中でこの問題がおきたことに深刻さがある。

報復人事にたいし、抵抗の動きがなかったことは重大。

**原 寿雄 氏**

極東裁判では天皇免罪のため、GHQ は苦労した。日本政府の一部には天皇責任は自分たちで裁きたいという動きがあり GHQ に申しこんだが GHQ にけられた。

民衆法廷は日本人がはじめて戦争責任を裁こうとしたものだ。

だから安倍グループが異常な行動をおこした。右翼政治家の琴線にふれた。ジャーナリズムの強さは労組

の強さと関係しているが今は個人に期待するしかない。

**永田浩三 氏**

裁判の中でほんののことを言おうと思ったのは長井さんの記者会見の後だが、取材対象にはほんののこと言ってくださいといいながら自分はそうしていないと遅まきながら考えた。

CP という仕事は自分の言葉が何百万の人びとに直接伝えられる特権があり、この仕事を失いたくないと言う思いとの葛藤があった。

報復人事に対し私たちを守る動きはなかったわけではない。(局内で)外の人と協力して番組を守ろうという意識は希薄。

「期待権」などという言葉は高裁中ではない。(法的保護の期待と信頼云々はある) 特段の事情がある場合と限定して使われたのにメディアが「期待権」とミスリードした。

**長井 暁 氏**

報復人事が若い人に与える影響が心配。✓

**西野瑠美子 氏**

お二人を犠牲者、被害者、守れない組織ジャーナリズムの限界とみる見方に違和感。

NHK 改革の扉を開いた人。

教科書会社が“慰安婦削除したのは社会のムード”といった。

DJ(ドキュメンタリ JAPAN)が NHK に渡したビデオが検証のスタート。

**原 寿雄 氏**

NHK が検証番組を作れないなら我々に渡せといえないか。あれは視聴者の物ではないか。政権交代で初めてこんな事を考えた。募集すればいろいろアイディアはあるのでは。

**質疑応答**

**国際婦人年連絡会:**西野さんと同じ思い。お二人は犠牲者でなく「英雄」? : 米山リサさんのコメントは150°くらいねじ曲げられていた。

**兵庫 Ni さん:**神戸に長井さんを迎えお話を聞いた。長井さんの生き方に感動し受信料拒否をやめたという人もいた。

**茨城 N さん:** NHK 問題を考える市民運動の横の連帯をとる方法はあるか。

**川崎泰資氏**

権力の介入は常にある。最近の「緒方元長官事件」への安倍氏の介入などいい例。

**元職員氏:**

1, 野島局長→松尾局長に「呼ばれたんじゃなくてこっちから行ったことにしよう」

松尾局長 「忘れたことにしよう」  
野島局長 「中川氏にあったのは2/2」

伊東局長「放送の後!よかった。バンザーイこれでアタシ関係ない」  
吉岡部長「ものすごい口裏合わせ大会を見物してきたぞ」

2, 落とされた兵士の証言の人はNスペで出演した人。

この兵士の証言に疑いをはさむとNスペ自体が否定される。

3, 「失神したから落とされた。」失神してない東子モールの人も落とされた矛盾。

4, 2夜分目は今は見られない。

5, 素材、台本は全部残っている。検証にはじゅうぶん。多くの人がかもっている。

本田記者のテープがあればすばらしいオーディオビジュアルの番組ができる。

6, あれ以降誰も慰安婦はやらない。今なら youtube もあるし出来るのではないか。

出来ることは NHK 内部でも市民運動もやった。残っているのは“ジャーナリズム”だけ。

**永田浩三氏:** ETV を何とかしたい人は NHK 内部でいい仕事をしている。

**長井 暁 氏:** NHK 内部から検証の動きが出てくるのが理想。独立行政委員会に期待

**西野瑠美子 氏** 英雄という言葉は常に戦争と結びついてきた。今回つかうのはどうか。裁判資料、BPO 意見書を英訳し国連人権委員会に来年3月提出する予定。裁判記録を誰でも読めるよう準備中。

**原 寿雄 氏**